

令和 5 年 度  
(2023 年度)

決 算 審 査 意 見 書

浅川清流環境組合監査委員





浅川監第16号  
令和6年(2024年)9月9日

浅川清流環境組合

管理者 大坪冬彦様

浅川清流環境組合監査委員 福島基

浅川清流環境組合監査委員 岸田正義

## 令和5年度浅川清流環境組合決算審査意見について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項の規定に基づき、審査に付された令和5年度浅川清流環境組合決算を審査した結果、次のとおり意見を付します。

## 目 次

<b>第 1 審査の概要</b>	-----	1
1 審査の種類	-----	1
2 審査の対象	-----	1
3 審査の期間	-----	1
4 審査の着眼点及び実施内容	-----	1
<b>第 2 審査の結果</b>	-----	2
1 総 括	-----	2
2 一般会計	-----	3
(1) 歳入決算状況	-----	3
① 款別歳入状況	-----	3
② 歳入決算状況の内訳	-----	4
(2) 歳出決算状況	-----	5
① 款別歳出状況	-----	5
② 歳出決算状況の内訳	-----	5
③ 予備費充当の状況	-----	6
④ 予算の流用状況	-----	7
3 財産に関する調書	-----	8
(1) 土地及び建物	-----	8
(2) 物 品	-----	8
(3) 基 金	-----	8
<b>第 3 意見・要望等</b>	-----	9

### 注 記

イ 文中に用いる金額は、原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入した。

そのため、合計等と符合しない場合がある。

ロ 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。

ハ 構成比率については、内訳の計が100.0%とならない場合がある。

# 令和5年度浅川清流環境組合決算審査意見書

## 第1 審査の概要

### 1 審査の種類

地方自治法第233条第2項の規定による審査

### 2 審査の対象

- (1) 令和5年度浅川清流環境組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和5年度浅川清流環境組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書
- (3) 令和5年度浅川清流環境組合一般会計実質収支に関する調書
- (4) 令和5年度浅川清流環境組合財産に関する調書

### 3 審査の期間

令和6年7月3日から令和6年9月9日まで

### 4 審査の着眼点及び実施内容

審査にあたっては、管理者から提出された一般会計決算書及び付属書類について、地方自治法等関係法令に準拠して調製されているかどうか、決算の計数は正確であるか否かを検証するとともに、予算は適正に執行されているかを主眼として、関係書類、帳票類と照合その他通常実施すべき審査手続きにより実施した。

なお、本審査は浅川清流環境組合監査基準に準拠し実施した。

## 第2 審査の結果

### 1 総括

令和5年度浅川清流環境組合一般会計の歳入歳出決算の総額は、表1に示すとおりである。

審査に付された一般会計の決算書及び決算付属書類は、地方自治法及び関係法令の規定に従い、会計原則に沿って作成されている。総括的に予算の執行状況をみると、地方自治法及び関係法令等に基づき事務処理がなされ、概ね適正に執行されていることが認められた。

更にこれらの計数についても、関係諸帳票及び証書類と照合した結果いずれも符合し、また出納閉鎖日（令和6年5月31日）現在における令和5年度歳計剰余金と、指定金融機関が発行した証書類とを照合検算した結果、その金額は合致しており、当年度における決算を適正に表示しているものと認められた。

表1

### 令和5年度一般会計歳入歳出決算総括表

(単位：円：%)

予算現額	歳入		歳出		歳入歳出決算 差引残額	翌年度へ繰り越すべき財源			
	決算額	収入率	決算額	執行率		継続費通次 繰越額	繰越明許費 繰越額	事故繰越 繰越額	実質収支額
2,244,288,000	2,427,471,013	108.2	2,182,153,040	97.2	245,317,973	0	0	0	245,317,973

表2

### 款別歳入状況

区分 款別	令和5		
	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)
1 分負担金及び金	1,765,810,000	1,765,810,000	1,765,810,000
2 使手料数及び料	1,000	0	0
3 繰越金	162,902,000	162,901,770	162,901,770
4 諸収入	315,575,000	498,759,243	498,759,243
合計	2,244,288,000	2,427,471,013	2,427,471,013

## 2 一般会計

### (1) 歳入決算状況

#### ① 款別歳入状況

款別歳入状況の年度比較は、表2に示すとおりである。

歳入決算額は、24億2,747万1千円で前年度決算額15億4,234万9千円と比べ、8億8,512万2千円(57.4%)の増加となっている。予算現額22億4,428万8千円に対しては、108.2%の収入率で前年度105.2%と比べ、3.0ポイントの増加を示し、調定額24億2,747万1千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

## 年度比較表

(単位:円:%)

年 度		収 入 済 額 構 成 比	予算現 額対比 (C)/(A) ×100	調定額 対比 (C)/(B) ×100	令和4年度 収入済額 (D)	対 前 年 度	
不納欠損額	収入未済額					増減額 (E) (C) - (D)	比率 (E)/(D) × 100
0	0	72.7	100.0	100.0	1,031,718,000	734,092,000	71.2
0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0
0	0	6.7	100.0	100.0	106,836,206	56,065,564	52.5
0	0	20.5	158.0	100.0	403,794,646	94,964,597	23.5
0	0	100.0	108.2	100.0	1,542,348,852	885,122,161	57.4

## ② 歳入決算状況の内訳

### 款1 分担金及び負担金

歳入決算額は、17億6,581万円で前年度決算額10億3,171万8千円と比べ、7億3,409万2千円(71.2%)の増加となっている。予算現額17億6,581万円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。調定額17億6,581万円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

内訳は、組合構成市負担金で、事務経費負担金が14億6,581万円、周辺環境整備負担金が3億円となっている。

各市の負担額は、日野市が事務経費負担金として5億5,637万5千円、国分寺市が事務経費負担金及び周辺環境整備負担金として6億933万8千円、小金井市が事務経費負担金及び周辺環境整備負担金として6億9万7千円となっている。

### 款2 使用料及び手数料

予算現額は1千円で、前年度と比べ皆増となっている。

### 款3 繰越金

歳入決算額は、1億6,290万2千円で前年度決算額1億683万6千円と比べ、5,606万6千円(52.5%)の増加となっている。予算現額1億6,290万2千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。調定額1億6,290万2千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

### 款4 諸収入

歳入決算額は、4億9,875万9千円で前年度決算額4億379万5千円と比べ、9,496万5千円(23.5%)の増加となっている。予算現額3億1,557万5千円に対しては、158.0%の収入率で前年度123.2%と比べ、34.8ポイントの増加を示し、調定額4億9,875万9千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

(2) 歳出決算状況

① 款別歳出状況

款別歳出状況の年度比較は、表3に示すとおりである。

歳出決算額は、21億8,215万3千円で前年度決算額13億7,944万7千円と比べ、8億270万6千円（58.2%）の増加となっている。予算現額22億4,428万8千円に対しては、97.2%の執行率で前年度94.1%と比べ、3.1ポイントの増加を示している。

表3

款別歳出状況 年度比較表

(単位：円：%)

区分 款別	令和5年度				令和4年度				対前年度	
	予算現額	決算額	執行率	決算額 構成比	予算現額	決算額	執行率	決算額 構成比	増減額	比率
1 議会費	5,768,000	4,912,693	85.2	0.2	5,917,000	4,421,687	74.7	0.3	491,006	11.1
2 総務費	618,406,000	599,952,312	97.0	27.5	567,278,000	543,454,734	95.8	39.4	56,497,578	10.4
3 事業費	641,563,000	615,418,426	95.9	28.2	630,555,000	588,903,771	93.4	42.7	26,514,655	4.5
4 公債費	961,872,000	961,869,609	100.0	44.1	242,669,000	242,666,890	100.0	17.6	719,202,719	296.4
5 予備費	16,679,000	0	0.0	0.0	20,000,000	0	0.0	0.0	0	0.0
合計	2,244,288,000	2,182,153,040	97.2	100.0	1,466,419,000	1,379,447,082	94.1	100.0	802,705,958	58.2

② 歳出決算状況の内訳

款1 議会費

歳出決算額は、491万3千円で前年度決算額442万2千円と比べ、49万1千円（11.1%）の増加となっている。予算現額576万8千円に対しては、85.2%の執行率で前年度74.7%と比べ、10.5ポイントの増加を示している。

款2 総務費

歳出決算額は、5億9,995万2千円で前年度決算額5億4,345万5千円と比べ、5,649万8千円（10.4%）の増加となっている。予算現額6億1,840万6千円に対しては、97.0%の執行率で前年度95.8%と比べ、1.2ポイントの増加を示している。

### 款3 事業費

歳出決算額は、6億1,541万8千円で前年度決算額5億8,890万4千円と比べ、2,651万5千円(4.5%)の増加となっている。予算現額6億4,156万3千円に対しては、95.9%の執行率で前年度93.4%と比べ、2.5ポイントの増加を示している。

### 款4 公債費

歳出決算額は、9億6,187万円で前年度決算額2億4,266万7千円と比べ、7億1,920万3千円(296.4%)の増加となっている。予算現額9億6,187万2千円に対しては、100.0%の執行率で前年度と同一である。

### 款5 予備費

歳出決算額は0円で、前年度決算額と同一である。

### ③ 予備費充当の状況

予備費の充当状況は、表4に示すとおりである。

表4

## 予備費充当状況表

(単位：円：件)

款	節	充 当 額	件 数
3 事 業 費	17 備 品 購 入 費	3,321,000	1
合 計		3,321,000	1

- ④ 予算の流用（歳入歳出決算事項別明細書に記載される流用）状況  
 当年度予算の流用(歳入歳出決算事項別明細書に記載される流用)状況は、  
 表5に示すとおりである。

表5

### 予算の流用状況表

流用元

(単位：円：件)

節 別	金 額	件数	節 別	金 額	件数
1 報 酬			12 委 託 料	2,055,000	1
2 給 料			13 使用料及び賃借料		
3 職 員 手 当 等			14 工 事 請 負 費		
4 共 済 費			15 原 材 料 費		
5 災 害 補 償 費			17 備 品 購 入 費		
7 報 償 費			18 負 担 金 、 補 助 金 及 び 交 付 金		
8 旅 費			21 補 償 、 補 填 金 及 び 賠 償		
9 交 際 費			22 償 還 金 、 利 子 料 及 び 割 引		
10 需 用 費			26 公 課 費		
11 役 務 費			合 計	2,055,000	1

流用先

(単位：円：件)

節 別	金 額	件数	節 別	金 額	件数
1 報 酬			12 委 託 料		
2 給 料			13 使用料及び賃借料		
3 職 員 手 当 等			14 工 事 請 負 費		
4 共 済 費			15 原 材 料 費		
5 災 害 補 償 費			17 備 品 購 入 費		
7 報 償 費			18 負 担 金 、 補 助 金 及 び 交 付 金	2,055,000	1
8 旅 費			21 補 償 、 補 填 金 及 び 賠 償		
9 交 際 費			22 償 還 金 、 利 子 料 及 び 割 引		
10 需 用 費			26 公 課 費		
11 役 務 費			合 計	2,055,000	1

※本表は、当該年度の流用のうち、歳入歳出決算事項別明細書に記載のあるものについて示したものである。

### 3 財産に関する調書

当年度末現在における財産の状況は、次に示すとおりである。

#### (1) 土地及び建物

当年度末現在における状況は、表6に示すとおりである。

表6

(単位：㎡)

区 分		土地(地積)			建 物								
					木造(延面積)			非木造(延面積)			延面積計		
		前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高									
行政 財 産	可燃ごみ処理施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	14,998.20	0.00	14,998.20	14,998.20	0.00	14,998.20
	合 計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	14,998.20	0.00	14,998.20	14,998.20	0.00	14,998.20

#### (2) 物 品

当年度末現在における状況は、表7に示すとおりである。

表7

※取得価格100万円以上のみを記載

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高		決算年度末現在高
		増	減	
携帯型水銀測定器	0	2	0	2

#### (3) 基 金

当年度末現在における状況は、表8に示すとおりである。

表8

財政調整基金

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高		決算年度末現在高
		増	減	
現 金	144,274,000	81,452,000	0	225,726,000

### 第3 意見・要望等

浅川清流環境組合は、日野市、国分寺市、小金井市の3市により、ごみ処理施設の設置及び運営等を共同で行うことを目的として、平成27年7月1日に設立された一部事務組合である。

令和5年度は、組合設立9年目となり、可燃ごみ処理施設の本格稼働の4年目である。

歳入決算額は24億2,747万1千円で、前年度決算額15億4,234万9千円と比較すると8億8,512万2千円(57.4%)の増加となった。主な増減内訳は、地方債元金償還金の増加に伴い事務経費負担金が7億3,409万2千円(100.3%)の増、余剰電力売電料が単価上昇により8,585万2千円(22.2%)の増、その他雑入(焼却灰売払い料等)が911万3千円(61.6%)の増、前年度繰越金が5,606万6千円(52.5%)の増となっている。

歳出決算額は21億8,215万3千円で、前年度決算額13億7,944万7千円と比較すると8億270万6千円(58.2%)の増加となった。主な増減内訳は、公債費の元金が7億1,960万5千円(317.6%)の増、総務管理費の償還金、利子及び割引料及び積立金が各2,803万3千円(各52.5%)の増、ごみ処理費の委託料が焼却灰等処分業務委託料の増等により2,155万2千円(4.0%)の増となっている。

令和5年度の歳入歳出差引残額は2億4,531万8千円で、前年度歳入歳出差引残額1億6,290万2千円と比較すると8,241万6千円の増加となった。

予算の執行管理については、概ね適正に処理されていた。

施設運営にあたっては、今後も3市の連携を密にするとともに、市民に対して積極的に情報発信を行い、周辺環境に配慮した安全・安心な施設運営に努められたい。